



第32回マイクロマウス中部地区初級者大会 結果

～ 情報技術部ロボット班 ロボトレース競技 第3位、特別賞、
ロボスプリント競技 優勝、準優勝、第3位～ **上位独占!**

- 実施日 平成29年9月3日(日)
 場所 名古屋工学院専門学校(名古屋市熱田区)
 参加台数 マイクロマウス競技35台 ロボトレース競技15台 ロボスプリント競技19台 合計69台
 大会結果
 ロボトレース競技 **第3位** 田上大喜(2年電子科)
 ロボトレース競技 **特別賞** 岐阜県立大垣工業高等学校 情報技術部
 ロボスプリント競技(一般の部) **優勝** 伊藤凌那(2年化学技術科)
 ロボスプリント競技(一般の部) **準優勝** 林聖弥(2年情報技術科)
 ロボスプリント競技(ワンメイクの部) **優勝** 伊藤凌那(2年化学技術科)
 ロボスプリント競技(ワンメイクの部) **準優勝** 古澤一晃(2年情報技術科)
 ロボスプリント競技(ワンメイクの部) **第3位** 山岸蓮弥(1年情報技術科)

記 事

本校からロボトレース競技5台、ロボスプリント競技14台の合計19台が大会にエントリーした。

ロボトレース競技は、3.6m×5.4mの黒ベニヤ板に設けられた白線上をスタートからゴールまで自律走行し、その走行時間を競う競技である。競技では、白線から外れるロボットがあった中で本校のロボットは5台ともすべて完走することができた。その中で、**田上大喜君(2年電子科)**のロボットが**第3位**を獲得した。また、各ロボットの安定した走りが評価され、**情報技術部**が**特別賞**を獲得することができた。3回の走行で少しずつタイムを伸ばせるようにプログラミングしており、今後は、距離を測定しながらメリハリのある走行ができるようにしていきたい。

ロボスプリント競技は、長さ8m、幅45cmの直線コースをいかに早く走行するかを競う競技で、2台のロボットが対戦するトーナメント形式であり、安定した走行性能が求められる競技である。一般の部とワンメイクの部があり、ワンメイクの部は、車体や電子回路等をキット純正のままで行うものになっている。ラインのないところから進入する部分に重点を置き、安定した進入ができるように工夫した結果、自作ロボットを使用したときに、8mのコースを2秒台でゴールするロボットに仕上がった。その中で、より安定した走りをする事ができた、**伊藤凌那君(2年化学技術科)**のロボットが二つの部門で**優勝**、一般の部で**林聖弥君(2年情報技術科)**のロボットが**準優勝**、ワンメイクの部で**古澤一晃君(2年情報技術科)**のロボットが**準優勝**、**山岸蓮弥君(1年情報技術科)**のロボットが**第3位**を獲得した。

調整時間が短く練習の成果を十分に発揮することができなかったが、大会で良い結果を残すことができ、今後の活動への課題やヒントを得ることができた。さらに技術向上に励んでいきたい。



ロボトレース競技



ロボスプリント競技(一般の部)決勝戦



表彰式後 記念写真